

平成 28 年 12 月 6 日

報 道 各 社 様

東 山 総 合 公 園  
担当 動物園 茶谷・今西  
管理課 杉浦・阿津地  
電話 782-2114

**東山動植物園における鳥インフルエンザが疑われる事例の発生について  
(第 1 報)**

本日、東山動植物園で飼育しているコクチョウ 1 羽（オス）から鳥インフルエンザが疑われる事例が発生しましたのでお知らせします。今後、確定検査を実施する予定です。

なお、当該コクチョウは本日 20:55 に死亡を確認しました。

記

これまでの経緯

- 11 月 22 日(日) 国内での高病原性鳥インフルエンザの発生を受け、こども動物園のアヒルとガチョウを屋内へ隔離飼育する。
- 11 月 29 日(日) コクチョウ（メス）1 羽死亡 ※簡易検査の結果は陰性
- 11 月 30 日(月) 動植物園内で展示していたコクチョウ 4 羽全てを動物病院（1 羽）と検疫室（3 羽）に隔離した。
- 12 月 3 日（土） コシジロヤマドリ（オス）1 羽死亡 ※簡易検査の結果は陰性
- 12 月 4 日（日） コクチョウ（メス）1 羽死亡 ※簡易検査の結果は陰性
- 12 月 5 日（月） 動物園内の古代池で野鳥（水鳥）と同居している鳥類（5 種 47 羽）をバックヤード施設内に隔離した。
- 12 月 6 日（火） コクチョウ（オス）1 羽の元気がなくなり、抗生物質の投薬を行うが、夕方に鼻汁が認められたため、18 時 15 分に簡易検査を行ったところ、陽性の結果が出た。

本日 23:00 より東山総合公園事務局で  
記者レクチャーを開催します。